

カレーライス物価 51 カ月連続で前年から上昇 「第二次カレーショック」

2025 年 11 月のカレーライス物価
1 食あたり 365 円

「カレーライス物価指数(2026 年基準改定)」調査
—2025 年 11 月分



本件照会先

飯島 大介（調査担当）
帝国データバンク
東京支社情報統括部
03-5919-9343(直通)
情報統括部:tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/01/09

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

次回調査の公表予定

2025 年 12 月分の発表は
2026 年 2 月 10 日(火)午前 10 時

SUMMARY

2025 年 11 月のカレーライス物価平均は 1 食 365 円(前年同月 320 円)となった。コメ、野菜類、各種原材料の価格上昇を背景に前年同月からは+45 円と 51 カ月連続で上昇(値上がり)した。
今後のカレーライス物価は、12 月に低下が予想されるものの、コメ価格の高騰などを背景に今冬にかけて過去最高値圏の水準で推移することが見込まれる。

株式会社帝国データバンクは、食卓への影響度を示す「カレーライス物価指数」を独自に試算した。

[注]カレーライス物価:カレーライスで使用する原材料や、調理にかかる水道光熱費などを独自に試算した指数。

ビーフカレー・ポークカレー・チキンカレー・シーフードカレー・野菜カレーの 5 メニュー平均値

各種価格データは「小売物価統計調査(総務省)」のうち各都市平均値(全国平均)を参照。調理シーンは「6 食分(市販のカレールー1/2 パック)をまとめて調理した」ものとした

カレーライス物価指数:各月のカレーライス物価を基に、2020 年平均=100 とした価格推移

2025 年 11 月のカレーライス物価：

1 食平均 365 円 / 過去最高値を更新 「第二次カレーショック」

カレーライスを家庭で調理する際に必要な原材料や光熱費などの価格(全国平均)を基に算出し、食卓に与える物価高の影響を可視化した「カレーライス物価(平均、2026 年基準改定)」は、2025 年 11 月時点で 1 食あたり平均 365 円となった。1 年前の 2024 年 11 月(320 円)からは+45 円・14.1%増と、前年同月比 51 カ月連続でプラス、14 カ月連続で 2 ケタを超える大幅な上昇が続いた。4 カ月連続で前の月を上回り、値上げ幅は 2 カ月連続で拡大、2015 年以降で過去最高値を更新した。カレーライス物価は再び大幅な上昇局面へと転じ、2025 年夏に続く「第二次カレーショック」の兆しがみられる。

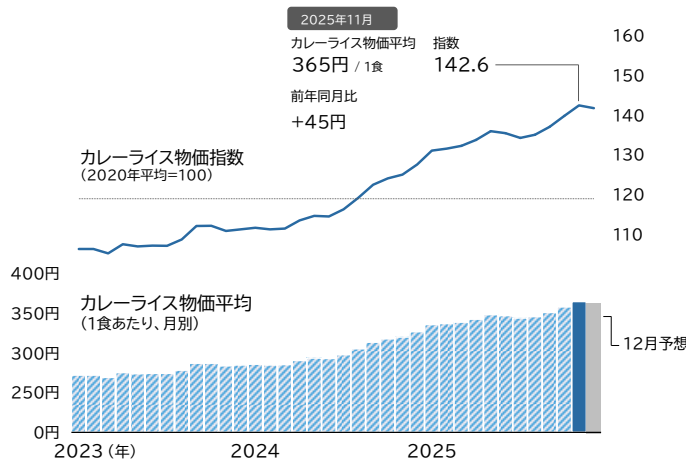
カレーライス物価を各メニュー別にみると、「ビーフカレー(総合)」が 472 円で最も高く、「国産ビーフカレー」(597 円)、「輸入ビーフカレー」(348 円)とともに、牛肉のほかタマネギなど野菜類の価格高騰が押し上げた。1 食あたり 500 円台となったのは、国産ビーフカレーのほか、単価の高い素材が多い「シーフードカレー」(532 円)の 2 メニューのみ。最も費用が安いのは「チキンカレー」(226 円)だった。

前年同月からの値上げ率を各メニュー別にみると、最も大きいのは「輸入ポークカレー」(240 円)で、前年から 20.6%値上がりし、全 6 メニューの中で唯一上昇率が 20%を超えた。米国産の価格上昇に加え、欧州産ではアフリカ豚熱などの影響で豚肉の価格上昇が続いたことで、全メニューのなかで特に価格上昇が目立った。「チキンカレー」は 18.9%上昇し、円安による飼料価格の高騰、鳥インフルエンザの影響による鶏肉価格の値上げが響いた。反対に、最も値上がり幅が抑制されているのは「国産ビーフカレー」で、+10.6%と全メニューのなかで最も上昇幅が小さかった。「シーフードカレー」(+11.3%)も他の食材に比べて変動が小さく、単価は高いものの相対的な「お買得感」が強まったメニューとなった。

各メニューのカレーライス物価平均を基に、2020 年平均を基準(100)とした独自算出の「カレーライス物価指数」をみると、2025 年 11 月の指数は 142.6 だった。指数ベースで 140 台に到達したのは、2015 年以降で初めて。カレーライス物価指数のうち、メニュー別で 2020 年平均から 5 割以上上昇したのは、「輸入ビーフカレー」(156.8)、「輸入ポークカレー」(153.8)、「野菜カレー」(151.3)の 3 メニューで、円安や天候不順などの影響のあった材料を多く使用したメニューで値上がりが目立った。

カレーライス物価の動向(月別、2023 年以降)

「カレーライス物価」推移(全国、月別推移)



メニュー別「カレーライス物価」
(各年 11 月)

各項目	2025年	2024年	前年比
カレーライス物価平均	365円	320円	+45円
ビーフカレー総合	472円	417円	+55円
(内)輸入ビーフカレー	348円	295円	+53円
(内)国産ビーフカレー	597円	540円	+57円
ポークカレー総合	285円	246円	+39円
(内)輸入ポークカレー	240円	199円	+41円
(内)国産ポークカレー	331円	294円	+37円
チキンカレー	226円	190円	+36円
シーフードカレー	532円	478円	+54円
野菜カレー	283円	247円	+36円

【出所】総務省「小売物価統計調査」を基に帝国データバンク作成
 【※】カレーライス物価：カレーライスで使用する原材料や、調理にかかる水道光熱費などを独自に試算した指数

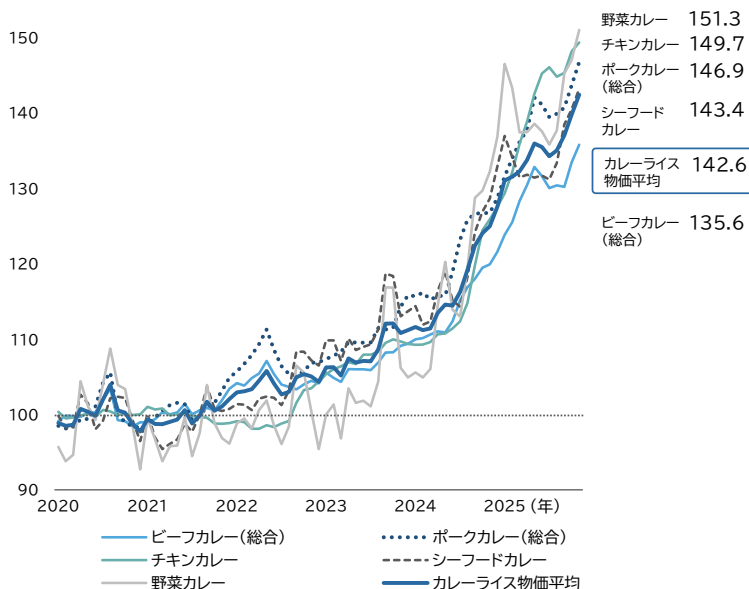
今後の見通し：2025 年 12 月＝363 円台/1 食予想 「第二次カレーショック」続く見通し

全国の物価の先行指標となる東京都区部の物価動向を基に予想した 2025 年 12 月のカレーライス物価は 1 食あたり平均 363 円台に低下する見通しとなった。前年同月に比べると 52 カ月連続でプラスとなるものの、前月比では 6 カ月ぶりの低下となる。なお、12 月予測分を含めた 2025 年のカレーライス物価年間平均は 348 円/1 食となり、2024 年(301 円)を 47 円・15%前後上回るとみられる。

コシヒカリのほか他の単一銘柄米でも店頭価格で精米 5 キログラムあたり 5000 円を超えており、カレーライス物価のうち約 4 割を占めるごはん(ライス)価格が大幅に押し上げる要因となっている。また、カレー具材では基本となる野菜 3 種(ニンジン・ジャガイモ・タマネギ)も、引き続き高温少雨や日照不足の影響を受けて高値圏で推移する見通しとなっているほか、牛肉・豚肉でも輸入品を中心に値上がりが続く、関連するカレーメニューでは今後も値上がりが続くとみられる。今冬にかけて安定した出荷量が見込まれる、ブロッコリーなどが具材となる「野菜カレー」は値下がり期待できるほか、1 食 200 円台前半で安定的に推移する「チキンカレー」など相対的に割安なメニューもみられるものの、全体ではコメ価格高騰を背景に過去最高値圏の水準で推移することが予想され、2025 年 5 月ごろの水準を超える「第二次カレーショック」が本格化することも考えられる。

カレーライス物価指数の動向

「カレーライス物価指数」種類・メニュー別推移



消費者物価指数との比較

各項目	2025年 11月	前年同月比 (%)
総合	113.2	+2.9
生鮮食品を除く総合	112.5	+3.0
食料	128.6	+6.1
生鮮食品	130.6	+1.5
生鮮食品を除く食料	128.3	+7.0
カレーライス物価指数 (帝国データバンク算出)	142.6	+14.1

【出所】総務省「2020年基準消費者物価指数」(全国、2025年11月分)

各メニュー別の具材は、各レシピサイト等を基に下記の通りと定義した(ごはん(ライス)、光熱費は共通)

- 【ビーフカレー】牛肉(国産・輸入)・タマネギ・ジャガイモ・ニンジン・食用油・カレールー
- 【ポークカレー】豚肉(国産・輸入)・タマネギ・ジャガイモ・ニンジン・食用油・ヨーグルト・カレールー
- 【チキンカレー】鶏肉(国産・モモ)・ニンジン・食用油・カレールー
- 【シーフードカレー】エビ・ホタテ貝柱・イカ・ニンジン・トマト・タマネギ・食用油・白ワイン・カレールー
- 【野菜カレー】タマネギ・ジャガイモ・ニンジン・ナス・シメジ・ブロッコリー・食用油・カレールー

お知らせ

2026 年 1 月 9 日

「カレーライス物価 2026 年基準改定値」の公表

記

2025 年 11 月分調査より、調査基準および集計内容等を改定いたします。

1 経緯等

カレーライス物価は、日常生活における物価の変動を代表的な食卓メニューの値段(コスト)に可視化した指標として、2024 年 7 月より時系列的に測定を行い、以後毎月の数値データを公表しています。

現在、コメ価格の高騰をはじめ物価高の影響が深刻化し、節約志向が強まっています。食卓においても、従前の採用基準だった輸入牛肉にとどまらず、割安な豚・鶏肉、ヴィーガン・健康志向の野菜カレーなどメニュー・素材の多様化が進み、これらを反映した物価動向の要望もいただいております。

こうした状況を鑑み、食卓の実態により即した物価指標として、対象品目ならびにメニュー内容・分量を見直した「カレーライス物価(2026 年基準改定値)」を定めました。

なお、旧基準からの変更箇所等については下記の通りです。

2 調査対象・容量の変更(変更・新設箇所は下線部)

- (1) ごはん(ライス)重量について、約 1 合→炊きあがり後重量約 180-200g を基準とする
- (2) ごはん(ライス)の種類について、コシヒカリ→コシヒカリ・単一銘柄米それぞれを使用した場合とする
- (3) カレーの種類について、ビーフカレー(輸入牛)の 1 種類→ビーフカレー(輸入・国産)・ポークカレー(輸入・国産)・チキンカレー・シーフードカレー・野菜カレーの計 5 種類・7 メニューとする
- (4) カレーライス物価に使用する品目について、10 品目→計 25 品目(メニュー別の重複を除く)を対象とする
- (5) メニュー別のカレーライス物価は、(2)に基づき算出された値の平均値とする
例:ビーフカレー(輸入牛)のカレーライス物価
=(コシヒカリ使用時の物価+(コシヒカリを除く)単一銘柄米使用時の物価)/2
- (6) カレーライス物価について、計 5 種類 7 メニュー・14 パターンのカレー物価の平均値と定義する
- (7) カレーライス物価指数は、(6)で算出したカレーライス物価を用いる

3 実施時期

2025 年 11 月分調査より反映

以上